

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
株式会社 ルネサス テクノロジ問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-SH7-A668A/J	Rev.	第1版
題名	SH7764 電源投入および切断シーケンスに関する誤記修正		情報分類	技術情報	
適用製品	R5S77640P300BG R5S77640D300BG R5S77640N300BG R5S77641P300BG R5S77641D300BG R5S77641N300BG	対象ロット等	関連資料	SH7764 グループ ハードウェアマニュアル (RJJ09B0395-0100)	
		全ロット			

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より弊社半導体製品に格段のご愛顧を賜り深謝申し上げます。さて、SH7764 グループ・ハードウェアマニュアル中に記載されている、電源投入および切断シーケンスに関して誤記が御座いましたので、修正内容について、ご案内申し上げます。何卒、ご理解の上、ご使用くださいますようお願い申し上げます。

敬具

— 記 —

「33.2 電源投入および切断シーケンス」(ページ 33-2)についての修正。

【修正前】

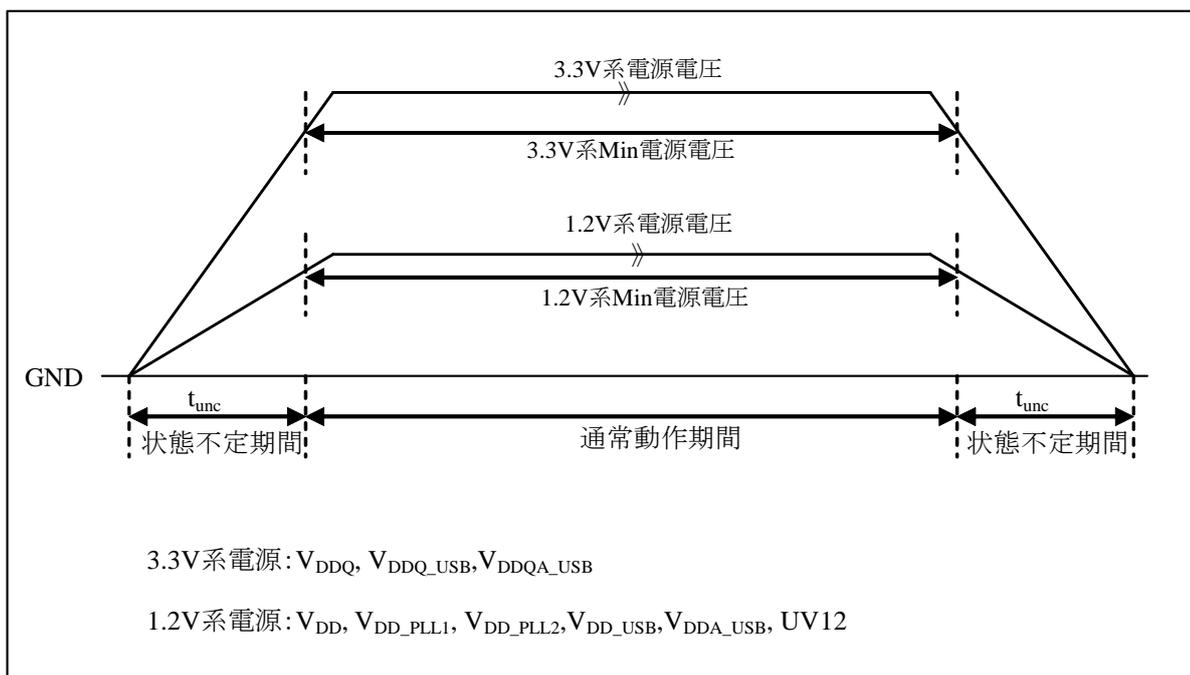


図 33.1 電源投入 / 切断シーケンス

表 33.2 電源投入・切断許容時間

項目	記号	最大許容値	単位
状態不定時間	t_{UNC}	100	ms

【注】 上記は最大許容値であり、厳密な設定を要求するものではありません。

3.3V系電源と1.2V系電源の投入・切断順序はどちらが先でも問題ありませんが、投入の遅いほうがMin.電圧以上に到達するまでおよび切断の早いほうがMin.電圧以下になってからが状態不定期間となり、その期間は端子状態および内部状態が不定となります。その状態によってシステム全体が誤動作を引き起こさないようシステム設計を行ってください。

【修正後】

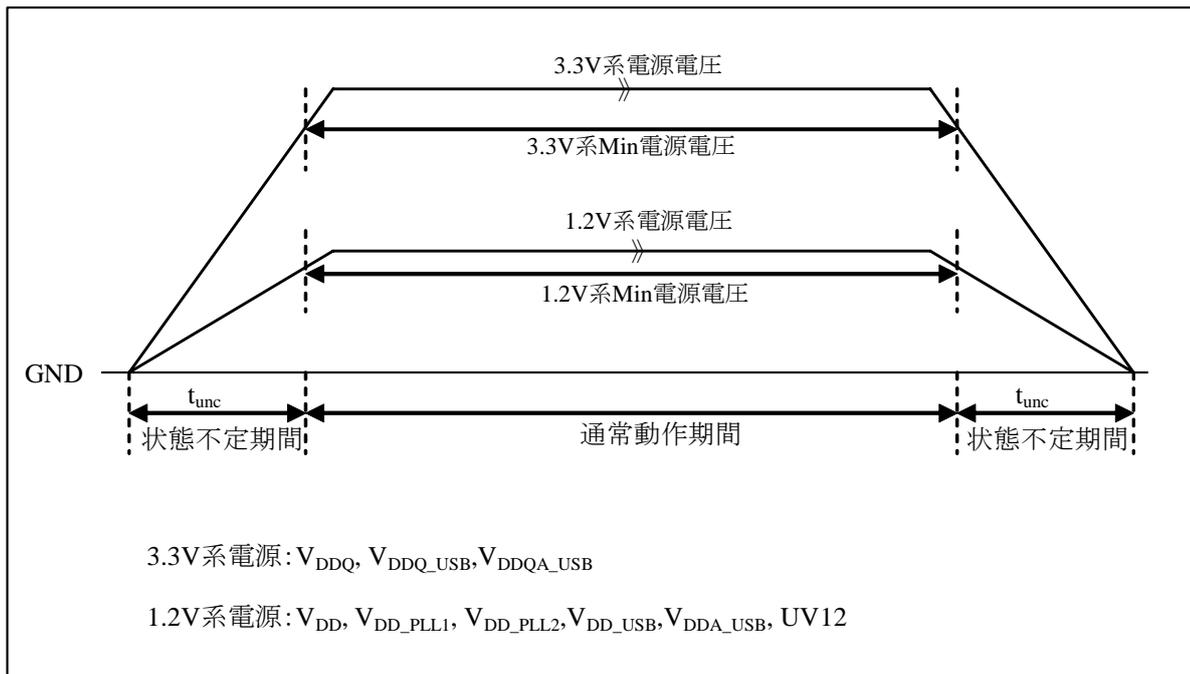


図 33.1 電源投入 / 切断シーケンス

表 33.2 電源投入・切断許容時間

項目	記号	最大許容値	単位
状態不定時間	t_{UNC}	100	ms

【注】 上記は最大許容値であり、厳密な設定を要求するものではありません。

3.3V系電源と1.2V系電源の投入・切断順序はどちらが先でもLSI単体の動作としては問題ありませんが、投入の遅いほうがMin.電圧以上に到達するまでおよび切断の早いほうがMin.電圧以下になってからが状態不定期間となり、その期間は端子状態および内部状態が不定となります。その状態によってシステム全体が誤動作を引き起こさないようシステム設計を行ってください。その際、電源投入時には1.2V系電源を3.3V系電源よりも先に投入し、電源切断時には3.3V系電源を1.2V系電源よりも先に切断することを推奨します。また、1.2V系電源電位が概ね0.6Vに達してから3.3V系電源投入開始までの時間は極力短くすることを推奨します。なお、3.3V系電源投入後に1.2V系電源を投入する場合でも、3.3V系電源投入開始から1.2V系電源電位が概ね0.6Vに達するまでの時間は極力短くしてください。

以上